

## 7 本時の展開（5／8時間）

### （1）本時の目標

- ◎ アドバイスや映像、友達の動きを手がかりに、よりよい動きを考え、自分の動きに取り入れることができる。（思考）
- ◎ 友達と仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。（態度）
- ◎ 題材の特徴を捉え、表したい感じを中心に動きを誇張したり、変化を付けたりして、メリハリのあるひと流れの動きで即興的に踊ることができる。（技能）

### （2）準備物

CDデッキ（4） タブレットPC（4） スクリーン プロジェクター 移動黒板  
 掲示物各種 リズム太鼓 学習カード

### （3）研究の視点

仲間と関わりながら、進んで表現運動に取り組むための学習過程の工夫

### （4）展開

	学習活動	○指導上の留意点	◎評価
導入 10分	1 あいさつ・準備体操（体ほぐし）	○ U・H・Dを行い、ウォーミングアップを行う。 ・ 柔軟運動、リズムダンスのスキルアップ	
	2 心身をリラックスさせる表現運動を行う。（心ほぐし）	○ イメージカルタ（海をテーマにしたもの）を活用し、表現運動を行う。 ・ 海の生き物、オノマトペなど、表現につながるような動きを取り入れる。	
	3 本時のねらいを確認する。		
	アドバイスを生かして、友達と関わりながら「漁」の動きや構成を工夫しよう。		
展開 30分	4 テーマイメージを確認する。	○ 各校から送られてきた動画（テーマイメージ「漁」）を視聴し、動きのつながりを意識させる。	
	5 プレ発表会をしよう。（1班） （1）グループの発表を鑑賞し、よりよい動きについて考える。（個 → グループ）	○ タブレットPCを使って、各グループの動きを撮影し、話合いの材料にする。	
	（2）意見交流をする。（全体）		
まとめ 5分	6 グループで練習する。 ・ 学習活動5の話合いを生かし、互いに動きを見合ったり、自分やグループの動きを確認したりしながら練習する。	○ 4つのくずしや自分たちが考えた「はじめ～おわり」の流れをグループ練習の場に掲示し、練習のポイントを明確にして取り組むことができるようにする。 ○ タブレットPCを使って、自分たちの動きを視覚的、客観的に確認し、課題を見付け、修正できるようにする。 ○ 話合いの時間が長くなり過ぎないように声をかける。 ◎ 今までのアドバイスや映像、友達の動きを手がかりに、よりよい動きを考え、自己の動きに取り入れている。（思考） ◎ 「漁」の特徴を捉え、メリハリのあるひと流れの動きで即興的に踊ることができる。（技能）	
	7 本時の活動を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	○ 全体で感想を交流し、発表会への意欲を喚起する。 ○ 次時の学習で、どのようなことに気を付けて取り組むかを確認する。	